物流ニッポン
LOGISTICS NIPPON

発行/月曜日・木曜日　第3568号
購読料/月額5,755円（税・送料込）
©物流ニッポン新聞社 2013 （1969年4月1日第3種郵便物認可）

2013年（平成25年）
1｜24
（木曜日）

URL=http://www.logistics.jp
株式会社 物流ニッポン新聞社
編集発行人 山田 晃
東京本社 東京都千代田区平河町1-7-20 ☎03-3221-2345
大阪本社 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-24 ☎06-6779-5655

全国8支局自社ネットワークの物流総合専門紙
札 幌 011-261-3155　名古屋 052-251-8301
仙 台 022-711-2755　大 阪 06-6779-5655
東 京 03-3221-2345　広 島 082-242-2821
新 潟 025-283-0322　福 岡 092-474-5858

広告バリエーション（スペース）

★集荷から幹線輸送及び配達まで
スペースチャーター便
ロールボックス単位の安全輸送で コスト削減
●専用フルカバー封印でセキュリティ管理
●荷物追跡システムに対応　●配達時間指定可能
●パレット経費を削減
※ロールボックス（内寸102cm×102cm×175cm 積載重量500kg以内、1単位での輸送サービス
信頼のネットワーク
福山通運
http://www.fukutsu.co.jp

雑報広告	サイズ	1面
題字横	天地 40mm 左右 65mm	48,800円

※上記料金に、消費税は含まれておりません

色刷料
1色 138,000円　多色 207,000円
特殊インキ使用の場合は10%増し
二連版の色刷料は50%増し

国交省■物流施策大綱委

荷待ち解消 高速料下げ

氏・結城氏が要望

国土交通省は21日、次期総合物流施策大綱の策定に向けた有識者検討委員会（杉山武彦委員長、成城大学教授）の3回目の会合で、樋口恵一・川崎陸送社長、結城幸彦・結城運輸倉庫社長が中小トラック事業者の立場からプレゼンテーションを行い、荷待ちなどの時間ロス解消に向けた物流効率の向上や自動車運転免許の見直し、高速道路通行料金の引き下げなどを大綱に盛り込むよう求めた。（田中 信也）

川崎陸送の樋口社長（右端）と結城運輸倉庫の結城社長（その左）らがプレゼン

運送コスト、韓国の10倍

樋口氏は、自社及び他社の運転作業日報を示した上で、「荷待ちで3時間半、荷下ろしも含めると6時間半のロス。別のケースでは積み込みに5時間近くかかっている」と実態を報告。更に、東京港の青海コンテナターミナルでは「6時間以上の荷待ちがある」とした上で、「日本の1日当たりの物流コストは韓国の2倍だが、輸送以外の拘束時間が長いため1運送当たりのコストでは10倍の差が付く」と指摘した。

その上で、「大水深バースを整備し、超大型のコンテナ船が寄港したところで、輸送が滞るようでは意味がない。待たせない仕組み・仕掛けが必要」と強調。欧米では当たり前の予約システムの普及、荷主への車両留置料の請求、物流施設の能力を把握する教育の徹底などにより「物流につけを回す商慣行を見直す」よう要望し、荷主と物流事業者の真のパートナーシップが重要と訴えた。

結城氏は、貨物輸送量が減少している中、規制緩和以降、トラック事業者の小規模化が進んでいる状況や「保有車20両以下の事業者の大半が赤字」という利益の出ない業界体質、燃料費の高止まり、少子高齢化による人手不足など業界を巡る諸課題を説明。事業環境を踏まえ、①生産性向上につながる道路網の整備②若年労働力確保のための中型運転免許の見直し③軸重規制の緩和（現行10㌧から11・5㌧超）④高速道路料金の引き下げ⑤車両・石油関連税制に見直し――などを「期待したい」とした。

一方、荷主側からは三浦憲二トヨタ自動車常務が「国内生産の維持・拡大に向け原価低減を推進しているが、日本の物流コストの競争力は低い。国内物流コスト低減が急務」と主張。改善に向けた方策として、諸外国と比べ割高な高速道路料金及び港湾料金の「見直し・低減をお願いしたい」と要請した。

「運賃構成分析し改善」

中村氏

プレゼン後の意見交換では、内田明美子氏（湯浅コンサルティング）が「トラック輸送の回転率・積載率とも低下しているのに車両を減らせない中、荷主からの運賃値下げ要請も重なり、厳しい状況にある。荷主とトラック事業者が役割分担し、効率化に取り組まないとならないが、荷主側が無関心」と、効率化が進まない背景を解説した。

中村次郎日本通運副社長は「欧米なら待機や荷役などの付帯作業はコストに含まれる。運賃構成を分析することで改善策が分かってくる。双方がウインウインとまではいかなくても、適正なところに落ち着くのでは」と問題を提起した。

高速料金引き下げでは、「物流だけではなく、それ以外の観点で整理する必要がある」（坂本裕寿・読売新聞東京本社論説委員）と、多角的な視点で問題を整理するよう求める声もあった。

国交省■内航海運の取引実態調査

下請法など違反散見

国土交通省は18日、内航海運における取引の実態に関するアンケートの結果を取りまとめ、発表した。2009年度に実施した前回の調査と比べ下請代金支払遅延等防止法（下請法）の認識の浸透や内航海運市場の回復により取引の改善が見られた一方、下請法及び独占禁止法の特殊指定違反の恐れがある問題も見受けられた、としている。

中小零細事業者が大半を占める内航海運業界の取引実態を把握するため、海事局と日本内航海運組合総連合会（上野孝会長）が共同で昨年7～9月に実施した。820社が回答（回収率31・9％）し、うち6割の491社が下請法の適用対象。調査の結果、下請法・独禁法の恐れがある問題として①用船料の減額や返船など定期用船契約中の一方的契約変更②手形による支払時期の遅延及び長期手形サイト③銀行振込料の代金からの減額④ダンネージやクリーニングなど適正な対価のない役務、その他経済的利益の提供要請⑤契約締結後の一方的な内容変更――を挙げた。

契約の一方的変更は半数強の事業者が「あった」と回答し、「用船料引き下げ」が39・3％と最も多かった。輸送量や代金の最低保証については「ある」が33・3％と前回（23・3％）より増加したが、「ない」が60％と多く、件数も82件と前回調査よりアップした。

また、取引環境をつくるために行政と業界団体（組合）が取り上げるべき課題（複数回答）は、「契約・約款の解説書作成と説明」36・0％、「定期的な調査などによる実態把握」34・0％、「下請法などの説明会」26・0％の順で多い。市場の改善への有効策（同）では、「契約ルールの明確化・徹底」43・0％が最も多く、「グループ化などオーナーの組織体制づくり」26・0％、「多重構造の是正」24・0％と続いている。（田中 信也）

経産省/補正予算案

中小資金繰り1180億円

「経営改善」策定も支援

経済産業省関係の2012年度補正予算案では、中小企業・小規模事業者対策として、「中小・小規模事業者の資金繰り支援」「消費税転嫁対策窓口相談等事業」などが盛り込まれた。また、「地域石油サプライチェーン強靭（きょうじん）化事業」など、近い将来発生が予測される巨大地震への対策も実施する。中小・小規模事業者の資金繰り支援には1180億円を計上。一時的に業績が悪化している事業者、新事業展開や事業再生に取り組む企業に対して、日本政策金融公庫などが低利で融資を行うための財政支援を実施する。また、指定金融機関による低利融資などに対しては、利子補給などを行うために必要な支援をする。

認定支援機関の経営改善計画策定支援では405億円を要求。中小企業再生支援協議会を通じて、認定支援機関による中小事業者への経営改善計画策定をサポートする。金融機関などが条件変更を行う前提として、適正な経営改善計画や再生計画の策定を求めるが、中小事業者単独では策定が難しいケースが多い。

消費税転嫁対策窓口相談等事業には42億1000万円を設定。2段階にわたる消費増税の際、円滑に転嫁するため中小企業団体などと連携して講習会開催や相談窓口設置など周知活動を行う。

復興、防災対策、情報セキュリティー関連では、災害時等石油製品供給・利用インフラ等整備事業に163億3000万円を計画。大規模災害時、石油製品を迅速・安定的に供給する体制を整備する。

地域石油サプライチェーン強靭化事業には80億1000万円を計上。巨大地震などに備えるため、事業継続計画（BCP）の実効性向上、各地域の石油基地における耐震・防水対策、石油会社・油槽所・ローリー事業者などの間で在庫情報共有システムの構築などを進める。（高橋 朋宏）

初のコンビニ物流受託

センコー カザフで事業拡

センコーは21日、カザフスタン共和国でコンビニエンスストアのミニストップから物流業務を受託し、事業を開始した、と発表した。センコーとしては国内外で初めて。南東部のアルマティ市内に開設した物流センターを活用し、常温に加えて冷蔵・冷凍輸送にも対応した車両を用いて3温度帯の商品の店舗供給を手掛ける。

アルマティ市内の物流センター

センコーとミニストップは昨年5月、現地のRTS有限責任事業

業会社「RT

ップ」を設立。中央アジアでは日系コンビニとして初となる出店準備を進め、18日に第一号店をアルマ

市内にオープンさせ

後、RTS−ミニスト

は、同市内を中心にカザフスタンでの店舗拡大を進める。これに伴い、センコーでは事業を拡大していく予定。

なお、物流業務はセンコー完全子会社の現地法人、ジャパンセレクトが行う。（水野 正博）

神戸

など3施設取得

IIF

産業ファン

（IIF）は

神戸ロジステ

ー（LC、神

ど物流施設3

る、と発表し

価格は計92億

円。今回の取

IFの物流施

取得価格は5

0万円となる。

IIF神戸

300万円、

（大阪府東大阪市）を

800　万円、IIF

C（千葉県柏市）を18

000万円でそれぞれ

する。

き渡し予定日が最も早

は柏LCで、2月4日。

現在は、日本通運が単独で使用している。

また、日新が利用している神戸LCが同月7日、摂津倉庫（浅野弘資社長、大阪府大東市）とセガ・ロジスティクスサービス（簗瀬良司社長、東京都大田区）が入居している東大阪LCは4月12日に

予定。

今回は、物

ほかデータセ

施設も取得（

し込み）。こ

えると、IIFの総資産は29物件、取得価格は1653億5700万円となる。うち物流施設は17物件、取得価格は567億7

0万円、全体に占める比率は34・3%。（山上 隼人）

雑報広告	サイズ	1面	総合面	地域面	終面
記事中	天地 40mm 左右 65mm	37,500円	28,900円	26,000円	34,600円

※上記料金に、消費税は含まれておりません

GLP

REITに3物件売

来月 仙台など125億

ローバル・ロジスティプロパティーズ（GLP、ジェフリー・H・シュワルツ会長、シンガポール）は

17日、グルー

する物流施設

T「GLP投

LP仙台（仙

など3棟を1

0万円で売却

した。売買取

に完了する予

GLPは昨

法人に対して

する売買予約

た。売却価格

P仙台56億2

GLP辰巳（東

49億6000万円、GLP

堺（堺市堺区）20億円。第三者割当増資によって調達した51億円を用いて3棟を取得し、2月1日に売買取引を完了させる。

得する3物件は、いず

高機能で立地が良好。

最大の物流施設特化型

ITとしてのポジショ

、一層確固なものとなろう」と話している。（山上 隼人）

日野自

新田工場に

フセンター

野自動車は17日、新田

（群馬県太田市）に隣

る拡張地で、新機械工

デフセンター）の起工

行った、と発表した。

開始は2014年度前半を予定。現在、日野工場と新田工場に分散しているデフの生産を移管・集約す

仙台港に倉庫3棟目

輸出入貨物の取扱めざす

白石倉庫

白石倉庫（太宰栄一社長、宮城県白石市）は1月から仙台港地区の営業倉庫を増床し、業務を開始している。東日本大震災で被災した仙台扇町営業所（仙台市宮城野区）の代替施設として仙台港営業所（同）内に3棟目の倉庫を建設した。新倉庫は2002年に開設した仙台港営業所の隣接地に設置。震災直後の11年3月に6400平方㍍の用地を取得し、野積み倉庫として6月に開業。今回、扇町倉庫の代替として平屋建ての倉庫を建設した。ことし1月9日に完成し、徐々に荷物の移動を行っており、本格的な稼働は2月からとなる。

鉄骨造りで定温（低温）と常温の倉庫を設けた。穀類保管の定温倉庫は床面積が1980平方㍍、住宅資材や雑貨などを保管する常温倉庫は1320平方㍍。既存の貨物に加え、近接する仙台港に関連する輸出入貨物の取り扱いも視野に入れる。3号倉庫の完成により、仙台港営業所（敷地面は8900平方㍍あり、昨年12月末に解体工事を終え、営業中の3棟（延べ床面積1650平方㍍）を残し、更地の状態にある。

太宰社長は「新倉庫は扇町倉庫の代替施設となる。既存の荷物に加え、仙台港に近い立地を生かし、震災前に手掛ける予定だった輸出入貨物の取り扱いも目指したい。物流を通して少しでも地域の復興を支援したい」と話している。（黒田 秀男）

2月から本格稼働する仙台港営業所・3号倉庫

Sleep Buster
居眠り運転警告
「スリープバスター」
居眠りの予兆を捉え
「喝ッ」と音声で警告
平成22年度
産学官連携功労者表彰
国土交通大臣賞受賞
JUKI株式会社
Tel.042-357-2284　http://www.juki.co.jp

秘密厳守　車、買います!　バン トラック 歓迎!!
居ながらにして車が売れる!
全国、沖縄から北海道まで!!　出張引き取り大歓迎!!
引き取り日時は、お客様のご希望に極力合わせます。
車検証をFAXください。
FAXで無料査定致します。
Wプレゼント実施中!!
その1 希望価格をご記入下さった全てのお客様に、キーホルダーを進呈致します。
その2 さらに、希望価格をご記入下さったお客様には商談成立の際、当社見積価格が下記の場合、
● 2万円～の車……プラス ¥2,000
● 10万円～の車……プラス ¥3,000
● 50万円～の車……プラス ¥5,000
●100万円～の車……プラス ¥10,000
を買取価格にプラスさせていただきます。
※ご住所・ご連絡先を必ず明記願います。
年中無休 TEL0120-89-1584 FAX0120-84-8980
おかげさまで創業38周年
スピード買取の
ハシモト
岡山市北区東古松南町9－24
URL http:www.car48.com　E-mail info@car84.com

雑報広告	サイズ	1面	総合面	地域面	終面
突き出し	天地 82mm 左右 56mm	61,100円	47,000円	42,200円	56,400円

※上記料金に、消費税は含まれておりません

ヘッドライン

13年度税制改正、自民税調の影響力低下 2
佐川急便、東京・大阪から当日配送 3
インドネシア大洪水、首都機能まひ 4
戦略港湾、釜山に対抗する横浜港 8
中日本　赤帽石川、環境・体育団体へ寄付 5
丸太運輸、知多に物流センター 5
近　畿　シンワアクティブ、「業務の改進」基本方針 6
ＪＲ西日本マルニックス、中づり広告をちり紙へ 6
西日本　林田物流、センターで太陽光発電 7
アイエヌライン、食品・冷蔵輸送分野を強化 7